

第 12 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会（会議録）

会議の名称	第 12 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 環境整備・P T A・コミスク部会
開催日時	令和 6 年 7 月 24 日（水） 午後 7 時 00 分から
開催場所	山岡振興事務所 2 階 大会議室
議題	課題 N o . 14 「P T A の組織運営に関すること」
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森 慶隆 安藤 常雄 三宅 勝彦 後藤 加代子 後藤 純一 川上 容子 中村 光代 永田 満依子(ZOOM 参加) 長谷川 一行 園原 正明 安藤 真由美 片桐 慎一 細江 幸次 後藤 理恵 伊藤 亜弓(ZOOM 参加) 梅村 政則 中田 憲(ZOOM 参加) 塚田 茜 大石 佐緒理 佐藤 美保 教育委員会 丸山 頼彦 市川 太一 小栗 研 横田 洋平 長谷川 棕 小野 千恵実
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	1 名

事務局 では、皆様、こんばんは。第12回目になります部会を開催させていただきます。

事前にご案内していましたように、PTAについてお話をということになります。今日は資料ともう1枚カラー刷りのものを置かせていただきました。これ最新のものではございません。昨年の9月のものです。各PTAの活動内容等が一覧になっておるところで、今日の話題の参考にとということで皆さんにお配りさせていただいているものです。よろしくお願いいたします。

では、レジュメに沿いまして進めさせていただきます。

はじめに、部会長挨拶からよろしくお願いいたします。

部会長 こんばんは。暑い中、今日ちょっと雨が降りましたが、ご苦労さまです。

一昨日でしたかね、大暑といって1年中で一番暑い日だったそうです。それで今日は土用の丑ということで、そんなことから暑いなということが感じられます。

ご報告ですが、今月の18日でしたかね、この準備委員会の総会が岩村のほうでありまして、多くの方にもご参加をいただきましたけども、私どもの部会でいいますと、新校舎の増築あるいは改修ということに対して提案をして、承認、可決をいただきました。

その中で意見があった中で、私はこうして皆さん方で詰めていただいたことがあの中に反映されていて、おおむね一生懸命やってくれていましたねというようなことで感触を得ました。本当にありがたいことだと思っております。

今日は、今も事務局のほうからありましたように、PTAの在り方ですけど、これ当然のことですが、各地区でそれぞれいろんな活動がありますので、違いがあろうかと思えます。今日はどちらかというと現状確認、現状把握をしながら、その中で意見を出し合っていていただいて方向性を定めていきたいなというふうに思っております。どうかよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは議題に入らせていただきます。

では、ここからの進行を部会長様のほうからお願いし、最初に事務局で説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

部会長 じゃあ、お手元に資料がいつているかと思いますが、PTAの組織運営に関することについてお送りした資料を基に事務局のほうからお願いします。

事務局 では、準備委員会事務局の方から説明させていただきます。

今申し上げていただいたとおり、PTAの組織運営に関することについて、本日協議していただきたいと思えます。

協議の進め方ですが、本議題を考える前提として、現在、恵那南地区のそれぞれの中学校を見てみると、中学校ごとにPTAが組織されておりまして、そこでそれぞれ異なるPTA活動を行っていただいているかと思えます。

また、PTAの役割や役職、その決定のプロセス、また会費など予算についてもそれぞれ異なっていると思えます。そこで、まずは今回PTAの代表としてこの準備委員会にお集まりいただいた皆様の各学校のPTAの現状を基に、様々意見交流させていただきたいと思えます。

こども園の代表の方におかれましては、現在は保護者会の役割であるとか活動といったものを基に、お子さんが小学校になってP T A活動に参加されることを想定して意見を交換していただければというふうに考えております。

この環境部会として、この議題について最終的なゴールとしましては、この部会としてP T Aの組織や活動の在り方を新統合中学校のほうに提案するというものとなっております。

つまり、令和8年度のP T A活動や予算、活動、そういったものを皆様に全て決めていただくというよりは、いつまでにどこで誰が何を決める必要があるのかということをお皆さんで考えていただいて、また最終的にその活動、役員、予算などについてを決定していただく上での案というものを皆様のほうで土台をつくっていただきたいと。それを基に新中学校に提言していくというようなイメージで進めさせていただきたいというふうに思っております。

本日の具体的な進め方としましては、今これを座っていただいている3つのグループごとに交流し、協議を行っていただきたいというふうに考えております。そこでお配りさせていただいた資料、幾つかあるんですが、P T Aについての検討項目（例）というA 4の片面だけ刷ってある資料があるんですけど、これあくまでも一例なんですけども、こういったようなことを皆様に考えていただく必要があるのかなというところで作らせていただいておりますので、こういった事柄を参考としていただきながら、とにかくP T Aに関する意見であるとか疑問・課題について、皆様のほうで忌憚ない意見を言っていただければということで、いただいたものを各グループのテーブルにある付箋のほうに意見を書いていただいて、そちらを整理していただくというように形で進めていきたいというふうに考えています。

実際、皆さんのほうからいただいた意見を基に、新たな学校のP T Aの在り方というものを何らか方向性を見つけていきたいというふうに考えておりますので、どうぞとにかく皆さんからは意見を出していただければというふうに考えております。

後ほど、この付箋に書いていただいた意見をグループごとに発表していただいて、全体で共有していただく形で進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、皆様のグループごとの協議の頃合いを見て発表へと移らせていただきたいと思いますので、早速ですがグループごとに協議のほうを始めていただければと思います。それでは、よろしくお願いします。

事務局 ここに事務局の者もまた入らせていただいて、資料を提供しながら話し合いをできればなと思っておりますので。

事務局 本日リモートで3名の方入られていただいております、こちらの方におかれましては、パソコンごと小学校のほうのテーブルで議論に参加していただきたいと思いますので、ちょっと音声等が聞きづらかったりとかその辺あると思いますが、すみませんがよろしくお願いいたします。

グループ協議

部会長 それでは各グループさんのほうから発表していただきたいと思うんですけど、今までですとある程度こうしたところでまとめのような感じでしていただいていたんですけど、今回のものでちょっとそこまでなかなかいけないんじゃないのかなということでしたので、こんな意見が出ましたということの発表だけでもいいですので、じゃあこども園のほうからお願いします。

委 員 こども園からの意見は、まずP T Aの在り方としては、大きい小さい規模でも残すべき、代表としていろいろ活動していく中でP T A活動は大事なので、組織は残すべきということです。

 メリットは代表者がその地区にいるっていうので、ほかの役員になっていない人は気にしなくてもいいですってことと、でもその組織がなくなっちゃうといろんな子どもたちの行事ができない。

 在り方として今までやっているP T A組織ではなくて、新しくつくっていくP T Aをつくれるといい。今までやっていたやつをそのまま引き継ぐのではなくて、新しい形のP T A組織をつくっていききたい。

 あと、P T A活動の2番については、資源回収は今ステーションができてしまったので、資源回収は必要ないということです。あと業者さんも全然集まっていないということなので、これはすぐになくしたほうがいいんじゃないかということと、あと環境整備はやはり草が生えたりするので、学校、見栄えもよくなるので環境整備は多分必要です。活動の負担の偏りをなくすと、あと東・西・北の今やっている規模がそれくらいになるので、東と西と北の情報を一度どんなふうにやっているかという資料をいただく。

 P T A活動におけるデメリットだと、会議に出たりすると、仕事をしている方だと休んだりしないといけないので、そういうの、ちょっと活動するにあたってのデメリットはそういうのがあるかなというふうに思います。

 あと、3番の予算については、やはりいろんな面で、環境整備とかだとお茶を出したり、部活動があれば部活動費とかそういうことがいるので、予算は、ちょっと値段は分からないですが要するという方向で。

 4番のP T A組織については、吉田小の合併もあるので、さっき西・北・東もそうなんですけど、吉田小の情報もあるといい。

 組織、役員をどうやって決めていくか、誰にするのかっていうところで、今の中1の保護者の人に残ってもらう。中1の人が中2になるときに、それぞれの中学校で役員はされているので、そのままサポートに上がる。その中から、長を決めたりっていう、そこでちょっと1回話し合ってもらったほうが、私たちが決めるよりかはいいんじゃないかっていうふうに思います。

 その今の中1の保護者の人には、こういうふうに決まりましたよっていう報告を早めにしておかないと、そんなすぐには心の準備等々もできないので、決まったら早く中1の保護者には周知をしておくです。

 以上です。（拍手）

部会長 ありがとうございます。具体的にまとめていただいたので、ありがとうございます。
 じゃあ、小学校のほう、お願いできますか。

委 員 小学校のほうは、具体的なところは、ちょっと今ここでは決められないなということで、いろんな意見をそのまま発表させてもらいます。

 まず、1番の必要性については、当然、両方の意見がありまして、なくてもいいのではと。例えば、いろいろ課題もあると思うんですけど、学校運営協議会みたいなのところに、保護者部会っていうのをつくって入るという意見もありますし、当然、合併したときに各地域との、特に相談するのに必要だという意見もありますし、だから細かく詰めるところは多々あると思うんですけど、2つ、どっちの意見もあります。

 それから、大きな組織になるので、入らない人が増えてくるんじゃないかと。あれ、義務じゃないですよ、PTA。だから、つくったところで実際にそんなに人がいなくなるんじゃないか。そういった意見があったので、いろんな情報を集めながら決めていく必要があると思います。

 あと、メリットとデメリットのこともそうなんですけど、各学校でこれやってきたからやるべきなんじゃないかというような、よくも悪くもそういう話を引きずっちゃうと、やっぱりやらされ感も強くなるし、結局新しい学校ができるので、さっきこども園の方からも意見が出たのと、新しいやり方っていうのがなかなかしにくくなる可能性があるんじゃないかなという意見がありました。

 それから、メリットというか、PTAを組織するのにメリットとしては、各学校のいろんな意見が当然出てくるので、それをすり合わせたりまとめたりするのにやっぱり必要なのではという意見です。

 2番の活動については、懇談会とか、環境整備とか、広報紙、いろいろありまして、どうしても今までのやり方で考えちゃうと、それは負担だと思うやつもありますので、広報紙やなんか。でも、ちょっとそういうやり方を変えれば、子どもたちの活動を保護者がやらなくても、子どもたちが自分で作って発行することもできるだろうし、やり方を変えていけば広報紙もできるのかな、そういう活動が多々あると思うんです。

 だから、この辺も各学校が今どんな活動をしているかというのを出示してもらって、そこからいろいろピックアップして、順番に決めていけばいいんじゃないかと。あとは、合併してから決めてもいいんじゃないかという意見もありまして、実際に必要なものもねっていう。

 予算については、活動によって左右されると思うので、当然、合併したときにはすぐに必要なお金もいるので、ちょっと意見が出た、今現状、各学校にあるPTAのお金、それを毎回チャラにしなきゃならないと思うんですけど、そこから均等割りというか、人数によってプールしておいて、残れば戻すような形でというやり方もそれぞれ必要なんじゃないかという。

 組織については、当然、各地域からは、最低でも1人ずつは出示してもらって、各地域からの意見、すり合わせ、そういったものはどうしても必要となるので、これを今すぐどうとは言えないですけど、必要な役割も決めていかんと、人数

も決めていけないというところもです。なので、本当に今現状をみんな把握して、それから徐々に決めていく必要があると思います。

その他は、役員に関しても、やれるときにやれる人が出ていくっていうやり方。例えば、各学年とか年代とか、各地区にもよると思うんですけど、いないところもあるんですね。上矢作でも今複式になっているので、ある学年では本当に1人しかいないところもあるし、全部均等割りしてしまうと、やっぱり本当に合併しても各地区では毎回役員あたりにならないかんところもあると思うんで、その辺のやり方もいろいろ負担にならないような役を考えていくのもという意見が出たので、これだっていうまとまった意見は特にありません。

以上です。（拍手）

部会長 ありがとうございました。では続いて、中学校のほうお願いします。
委 員 組織についてなんですけど、今こども園さんとか小学校さんから言われたのと似ているんですけど、PTAという組織ではなく、保護者会とか、別名の組織でもいいんじゃないかという意見が出ました。

ただ、これをしていくことになると、市P連、県P連とはつながらないということになってしまうので、まずその問題もあるのかなと思うと、横のつながりも役に立つこともあるのではないかという意見が出ました。

保護者が学校に関わることは必要だと思うので、何かPTAではなくても違った形の組織でもいいんじゃないかという意見が出ました。PTAの組織だと、役員に選出される方とかやり手がいなくて、働く保護者が多い、参加の仕方を工夫することも必要ではないかということです。

活動についてですけど、今、現在でも広報紙とかはだんだん減ってきていると思うんです。市P連のほうでもデジタル化を目指していると思うので、これはメール配信だとか地域の広告に載せたりとかしていると思うので、そちらを利用していただければいいんじゃないかという意見が出ています。

予算なんですけど、協力的な会費はあってもいいんじゃないかなと思っています。PTA会員にならない人が増えてきて、PTAの組織だとPTA会員の人はお金を払う、PTA会員ではない人はお金を払わないとなると、必ず問題が出てくると思うので、それならそれとはまた別で保護者から協力的な会費はあってもいいんじゃないかなという、それが子どもたちのために使われるお金であればいいんじゃないかと思います。

資源回収については、5地区では回収が難しいと思うので、その辺はちょっと無理じゃないかなと思います。

役員任命の本部のところは、令和7年度中に各中学校になる方で1人出してもらって、令和8年度の開校時に本部役員になれる方を選出してもらって、あと令和7年度中に役員としての新しい組織を立ち上げて、いろんな中学校の話とかをしながら、誰が会長になるとか、どういう組織にしていくかというのを決めていってもらわないと、いきなり決めることは難しいんじゃないかなと思います。

それに加えて、5地区が合併することによって地区委員というものが必要にな

るのではないかなと思うんですけど、その地区委員を立てると、本部役員でも地区委員でも出そうと思うと、各地区で必ず2人を出さなきゃいけないとなってしまうと、それが負担になるのではないかなというのもあるので、その辺は検討する必要があるのではないかなと思います。

以上です。（拍手）

部会長 ありがとうございます。最初に言いましたように、なかなかこうしたほうがいいということにまとめるというのは今ちょっと、なので、これを今いただいたものを参考というかあれにして、もう一回事務局のほうで次の会議に向けての案というか、ヒントというか、そんなものをまた出していただいて議論をしていきたいなと思います。じゃあ、協議のほうは今の形で、ありがとうございました。では3項目の次回の環境部会についてです。お願いします。

事務局 まず、日にちだけ先にお伝えさせてください。会場とか、あと会長、副会長と決めさせていただきました、8月29日の木曜日の午後7時からということでお願いしたいです。

ちょっと夏休みがあつて、お盆があつていろいろあるので、その後でということにさせていただきました。29日の木曜日午後7時、会場はこれ順番に回ってきました。次は、明智で行わせていただきたいと思います。

今日は皆さんそれぞれグループでお話をさせていただきました。いろんな思いがあつて意見が集まってきたものをちょっと事務局で一旦これ、今日の話も大体分かりましたので、それを今度は整理をさせていただいて、じゃあ次回でこんなふうにまとめるといいんじゃないかなという方向性のようなものをお題として出しながら、じゃあこの部会としてこんなふうな提案ができるといいよねというのを、まとめられないかなというようなことを次、やりたいと思います。

次で本当にまとまるかどうかもちっと分からないんですけども、次はこのPTA、皆さんの意見を集約整理して、事務局側からお題を出しながら形を作っていきたいと、そんなふうに思っています。多分、今日の感じだといい意見ができるんじゃないかなという気がしてます。次回は引き続き整理まとめをしたいということでお願いしたいと思います。

では、次回の話はさせていただきました。よろしく願いいたします。

委 員 ちょっといいですか、さっき意見のあった各5地域のPTAの活動であつたりとか、さっきやった福岡小の合併したとこの現状、そういうのも考える材料として、資料としてあると。

事務局 そうですね、よそのグループでもありました。確かにそうですね、西とか東とかもあつたし、よそのところの地区とか、あとちょっと状況を集めたデータとか資料も提供させていただくと、多分より皆さんも議論がしやすいのかなと思いますので、ちょっと情報を集めて、次には皆さんにまたご提供していきたいと思います。

委 員 あと、すみません。もしとか、有無とかのアンケートとしたらちょっとまずいことになりそうだからあれやけど、活動についてこんな活動を今してるけど、今後必要か必要じゃないかなとかを取りあえずアンケートみたいな感じを、2番、

検討項目、PTA活動についてみたいところの、今参加してる人たちがどう思ってるんだとか、ここの代表じゃなくて全体の意見として、やりたいかやりたくないかを聞いちゃうと大変なことになっちゃいそうだから、こういうことを今の時点でやっているっていうのを、これを引き続いてやるためにはどうしたらいいのかっていう意味でアンケートを、その次の会議までの間にこっちにも、ほかの保護者の意見とかが分かると、検討材料になるかなと思うんですけど。

事務局 多分、今のお話ですと、じゃあその案件をどうしようかっていう議論をここで練らんことには多分、出しようがないかなってそんな気がしました。もし、多分次回もしそういう方向で行くというようなことでは、ちょっとまた調整ができれば、何を聞くか、どういうふうに聞くのかっていうのも分かり、ちょっとこっちで決めちゃってもよくないんで、それも含めて次回、もし必要ならばということも話合いできればなっていうことかなって今感じました。ほか、よろしいですか。

部会長 特に議題としてはないですが、その他何かありましたら。
委員 あと、この間スクールバスのことを説明会を秋ぐらいにやるようなことを話していたと思っていたんですけど、私、人に聞かれたときに自分のメモだけでは自信がなかったので、議事録を見たときにその辺が抜けていて、どっちだろうって思うことがあって、もしよければ議事録もうちょっと端折らずに残しておいてもらえると、私も聞かれたときに答えなかったのが申し訳ないかなと思って、申し訳ないですけど。

事務局 前回ちょっとお話しています。保護者に確認するための今資料作りをやってます。これ今夏休みに入りましたので、めどとしては夏休み明けぐらいに何とかしたいなというところで、今資料作りをしています。バス停とかの写真も全部撮りながら、いろんなちょっと分かりやすいように、より分かりやすいようにちょっと今、収集していますので。

委員 もし、その議事録もその辺が前回のときに最後のほうになったスクールバスのことが一切入ってなかったの、あれどっちだったかなと思って。なんかね、前々回はすごい細かかったですよ、ちらっと。今回あれっと思って。毎回見るわけじゃないんですけど、たまたま聞かれてもう一回見たときに分からなかったの、もう一回お願いします。

事務局 この会話をまた上げさせてください。

委員 すみません。

部会長 お願いいたします。

事務局 御挨拶をよろしくお願いします。

部会長 長時間にわたってありがとうございました。本当に前もちょっと言ったかと思うんですけど、ここまでという時期があって、もう少し先かなと思うんじゃないかって、いやもうすぐ来るっていうぐらいの、やっぱ緊張感とまでは言いませんけど、本当にこうして我々が出したことが新しいところに反映されていって、私たちの思いがずっとそこでまた大きく育んでいける、やっぱり土台づくり

をやってるわけですので、また改めて活発な意見を出していただけるような、
こうした会議になればなということを願っています。
今日は本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。